

学校評価結果（平成28年度）

I 自己評価

1. 本園の教育目標

発達に応じた楽しいあそびの中で、知・体・徳のバランスのとれた教育を展開し心身ともに元気で明るい、のびのびした子どもを育てることを目指す。

- ・心身ともに元気に明るい子どもを育てる。
- ・自ら進んで新しい発見をし、喜びを持ち工夫する子どもを育てる。
- ・自分や他人を大切にし、みんなと仲良く協力できる子どもを育てる。
- ・規則正しい生活ができ、自ら安全な行動のできる子どもを育てる。

2. 本年度の重点的に取り組む目標、計画

子どもの成長に即した丁寧な保育を展開する

職員間で子どもの共通理解を図り情報を共有する

幼稚園の活動を地域に発信する

3. 評価項目の達成及び取組状況

子どもに即した保育を計画し展開する	年度の初めに教育目標並びに行事等の共通理解を図り、一年間を通じた保育計画を作成し段階的に成長できるように配慮し保育を行うことが出来た。
子ども一人一人の状態を見極め、子どもたちに寄り添った保育を行う	朝の登園時の子どもの体調にしっかりと把握することに努めた。また子どもたちの自発的な活動を大切に子どもたち主体の保育を行うように心がけた。また学年間での子どもたちの共通理解を深めるよう努め、保育の進度の平滑化に努めた。
教育者としての自覚をしっかりと持ち自らの資質の向上に努める	職員会議などを通じて自らの保育を見つめ直しまた反省点を明確にするとともに日々の保育の向上に努めた。また職員間で意見の交換を積極的に行い、自らの保育に役立てた。
保護者との関わりと情報発信	登降園時に積極的の保護者に声かけを行うように心がけ、また園だより、クラスだよりを発行し子どもたちの日々の活動の様子をお知らせした。またホームページをリニューアルを計画し、地域への情報発信に取り組んだ。

安全面や施設面での取り組み	日々設備や施設の点検に努め改善を行った。また交通安全講習や避難訓練を行い、意識の向上を図った。
---------------	---

4. 学校自己評価の総合的な評価結果

職員一人一人が日々の反省を行い、自らの教育者としての資質の向上に努め、保育に生かすことが出来た。教職員間での子どもたちの共通理解を深め、三年間通じての連続した保育を展開することが出来た。

また情報発信を積極的に行うことにより保護者との関係を深めることが出来た。

5. 今後の課題

さらなる保育の質の向上に努め、子どもたちにより良い成長を促す
地域への情報発信の拡大に努め、ホームページのリニューアルを行う
施設の改善や設備の改善を積極的に行う

II 学校関係者評価

幼稚園関係者の方々には主に行事を通して日頃の保育の成果を見て頂き適正に運営されているとともに、28年度の自己評価についても適正であると認められた。

今後も子どもたちの健全な成長のためにより一層頑張ってもらいたいとの言葉を頂きました。